

- ▶ 新たな森林経営管理制度では、経営管理が行われていない森林所有者を対象に市町村が意向調査を実施することや、森林所有者が適切な経営管理を実行できない場合には、市町村が経営管理を行うために必要な権利を取得すること等が規定されている。
- ▶ 北九州市では、森林所有者の森林経営に関する意向等を把握する「経営管理意向調査」に先立ち、森林所有者の座談会において事前意向調査アンケートを用いて、経営管理の現況や見通しなどについての把握を行った。
- ▶ 事前意向調査アンケートの結果から、今後に経営管理意向調査を行っていく地区の選定や、調査に必要なデータの作成を行っていく予定。
- ▶ また、森林機能維持を目的として、既設林道の維持修繕を行った。

□ 事業内容

1 森林所有者への事前意向調査の実施

- 市内の20地区（私有林人工林3,504ha）で座談会を開催し、事前意向調査アンケートを実施。

【事業費】3,960千円（全額譲与税）

【実績】座談会実施 20回、アンケート回答 223人
経営管理意向調査へ向けて地域の絞り込み
母原地区 30.4ha

2 既設林道維持整備

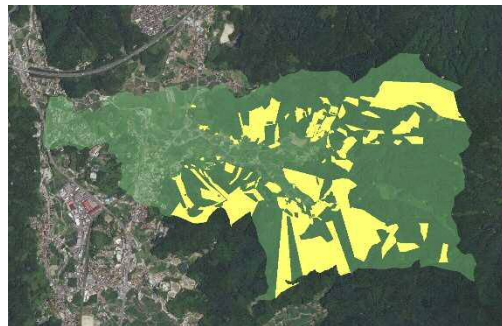
- 既設42路線の林道の維持修繕を行った。

【事業費】51,343千円（うち譲与税8,354千円）

【実績】林道の除草・補修など維持修繕 7路線

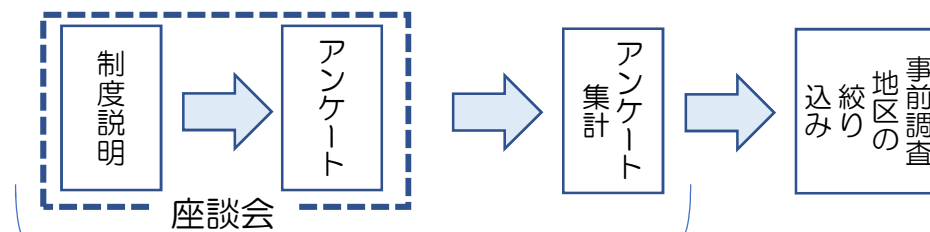


事業1：座談会の様子



事業1：母原地区
黄色部分は座談会参加者の所有林

□ 事業スキーム（事業1）



株式会社パスコが
経営管理事前意向調査業務委託を受け実施

□ 工夫・留意した点（事業1）

- 座談会に3D航空写真やGISを活用したことにより、森林所有者が自身の所有林や地域の山についての状況把握をしやすくなり、森林経営管理についての理解を深めてもらうことができた。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	43,314千円
②私有林人工林面積（※1）	3,503ha
③林野率（※1）	39.7%
④人口（※2）	961,286人

※1：「2015農林業センサス」より、※2：「H27年国勢調査」より